

【刊夕日七月八】



定 價 一 錢 五 分 郵 費 在 內 一 日 一 錢 五 分 一 週 十 錢 一 月 三 十 錢 三 月 九 十 錢 六 月 一 百 八 十 錢 一 年 一 千 八 百 錢 廣 告 費 另 議 日 休 刊 日 祝 祭 大 曜 日 刊 休 日 文 字 特 川 人 刷 印 人 轉 編 兼 行 發 佈 五 三 町 橋 長 町 平 郡 城 石 縣 島 郡 番 〇 三 六 話 電 社 開 新 日 每 磐 常 所 行 發

### 民政黨の逆宣傳振り

代議士 木村清治

政治の要諦は國民生活の安定を期するにありと思ひしに民政黨内閣成立以來全く正反對にて國民の生活は愈々益々不安に導かれ不景氣は極端にして破産倒産失業者續出し農村の疲弊困憊殊に甚しく米麥は勿論蔬菜等の下落甚しく、一例を擧ぐれば荷車一臺約三十貫目の玉菜は七八十錢に賣買せらるゝが如き實に驚くべきものあり、春繭の暴落は夏秋蚕に影響しや人心は極度に萎靡し殆んど仕事も手に着かざるの状態にて從て租税の滞納者頻出する事寧ろ當然の義なり如此にして永續せんか國民は終に餓死するの外なしと現内閣の更迭を熱望するの聲喧しくなりしも民政黨の下級黨員が目下の不景氣は田中内閣批政の結果なりと逆宣傳に努め、瞞着するに巧みなるに驚くの外なし。

### 思出の山其他

しのぶ

思出の山に登りて  
唄へども  
昔の人の聲もなく  
胸に冷たき  
風すぎぬ

### 銀河

中澤秀峰

思出の山に登りて  
なげども  
昔の人の影もなく  
涙は風に消え去りぬ

職業の女は悲し  
二十年の春めくれども  
夢もなく  
我れ持つべしの冷たかり

職業の女は悲し  
友は嫁ぐに  
大空を見つめてあれば  
見てあれば涙流るゝ

### 宇多川縁にて

相馬S生

☒せせらさの宇多の川へり  
若人の月を背にして戀を見  
しかも

☒をつこいつ礫いちりて戀  
の友我を待ちあらしこともあ  
るかな

☒水清く流れ激しき宇多の  
川昔ありしと語りてぞ往く  
☒何事もうたかたにせん宇  
多川の瀬々の流れにまかし  
てもかな

☒物持の屋敷眺めて吐息す  
る若人父の運命をかこつ  
☒今いつこ如何なることを  
思へてそ月をながめておわ  
しますらん

萬象に粘はりて……淡く濃  
く緑に 黒ばみた曠野をう  
ねりにうねつた銀河一條  
柔かく無限に擴まる銀河の  
吐息の中に  
未だ溶け行く微光に酔へる  
小舟の影一ツ  
私の瞳に映する純情的の春  
の微光いつしか脳汁の中で  
陰鬱が逆轉す

### ある男の口笛

鍛冶町 やよひ生

彼がなんで口笛を吹くか  
私はよく知つてゐる  
ややくそで?  
そうださみしいやけでだ

「死の聲をきくんだ」  
そう云つて  
不氣味に光る  
つめたいレールに  
耳をあてて、  
ゴウ／＼汽車が近づく音を  
口笛で調子をとりになら  
聞きほれる彼だ  
あー今日ももの狂はしく  
口笛を吹いてゐる彼  
死にたいんだなつ?

子宮病が根治する  
元祖家傳の子宮  
坐薬として名聲噴々たり

白帯下、赤帯下、陰門悪臭の人  
子宮冷へ込み腰足の冷へる人  
月經不順、下腹痛み引る人  
こしけの 下る 方  
子宮出血、子宮癌腫の人  
逆上、頭痛、ヒステリーの人  
淋毒性子宮病、不妊症の人

歴史に古く學理に新ら  
しい著しき効果

子供の出来る名薬

市原商店 平一丁目電話二四四番

濱通り特約代理店 市原商店 平一丁目電話二四四番

吾妻家 美佐男 姉妹  
政之助

安來節、小原節、浪曲萬歳、所作事、ジャズと舞踊  
危険術、喜劇等

女十七名、男十名の大一座

舞台は大道具大仕掛

毎夕五時開演 聚樂館

酒 銘  
乃 良  
詰 瓶

景品付賣出

一、景 品 東京日本橋 白木屋 化粧石鹼  
一、期 間 昭和五年十月卅一日迄  
一、二升瓶詰一本 〔一、二〇〇〕 毎に一個宛進呈

〇空瓶は一本二十錢に御引受け致します

市 販 賣 店

平町新川町 谷口商店  
同 材木町 緑川商店  
同 長橋町橋際 小野商店

平町以外各町村一店宛特約販賣の求めに願す

發賣元 平町町 永山酒店  
電話二〇七番

齒を白く二倍に使える  
資生堂歯磨粉

大瓶 二角五分  
小瓶 一角五分

# 平職業紹介所の 失業者調べ

## 男女を合し八十六名 最も多いは日雇業者

### 平署の調査より少い

平職業紹介所が八月一日現在を以て調査した中町市内に於ける失業者数は男八十三名、女三名、合計八十六名であるが是れを前月の九十一名に

比較すると五名の減であるばかりでなく平署の八月一日現在調査に依る男百四十五名と女十八名に比較し非常な巾がある

平紹介所の調査方針は働くべき意志と能力を有するに拘らず就職不能なる者との結果、老衰、病弱、怠惰、酒亂、任意不就職、争議の渦中に在る者

等は除かれる事となつて居るから是れ等の出入に依つて數の上を差を生ずる事になつたものらしく是れを職業別にすれば

▽給料生活、男十八、女無  
▽日雇業、男四十九、女一  
▽其他労働、男十六、女二  
▽合計八十六  
である、而して町内別にすると給料生活の失業者の最も多く居住して居るのは矢張り平町の

## 山の手

跡であり日雇業の失業者は月見町の十七名を筆頭に鎌田北白銀等に多く本町通りには全然無いかと思ひば一丁目に三名、三丁目に一名五丁目一名とあるから可成り各町に散在して居るものと見える町當局としては

## 適当な 救済策もなし

い失業者の氏名は何れも名簿に記載されてあるから水道の擴張工事や他の土木事業等が起つて人の入る場合は直ちに通知就職せしむる事になつて居るといふ

## 中堅青年 講師が決定

既報来る廿三日から警中講堂に開かれる石城郡中堅青年講習會に於ける講師は左記の如くである

▽法律(盗犯防止)講話 平區裁判所検事三笠義孝  
▽歐洲視察談話 小名濱修築  
▽港灣講話 小名濱修築  
▽事務所長 橋本篤夫  
▽講話 法中町伏見彦衛  
▽講話 法中町商業學校長 吉田利吉  
△軍事講話 歩兵少佐 八谷

今日二の丑 愈々各濱の賑ひ あすから秋となるので今日の丑の日はチト名残り惜しいと見え、連日の殺人の暑さを

## 歯科の夏期講習

### 四倉小學校に開く 本縣齒科醫師會の主催

本縣齒科醫師會にては創設以來最初の試みとして来る十六、七の兩日午前八時から午後三時迄四倉小學校に夏期講習會を開催する等に講師及び演題左記の如く

木田繁松、森合芳男、志賀興市、鈴木五郎、熱田留、神谷辰夫、五十嵐一也、杉本道明、佐藤泰次郎、菅波勇、坂本惣次郎、丹野淳

## 電柱火を吐く

### ガイ子の故障

平町長橋町裏手田圃中の警城炭礦發電所の送電電柱が本日午前十時半頃突然異様

## 豊漁に悲哀が伴ふ

### 鯉節は半値に近い暴落

今年には江名、小名濱、豊間一帯の鯉など近年にない豊漁でこの船も大漁々と歸つて来るがサテ魚價の暴落は折角の豊漁にかへつて悲哀が伴つて居る、昨年までは濱相場でも一尾五六十錢

でこれも前年から見れば半價に近い暴落でしかも生産過剰に弱り抜いて居る有様である

## 御影石は

### 田村郡から

石城郡小名濱築港の材料として赤井村御影石を使用されべく傳へられて居たが値

△立野八五 當時田村郡小野新町佐藤アサエ(一ツ)  
△長橋町三〇 齋藤藤重(一七)  
△揚土一九 上坂マ(四六)  
△南町五 根本孝子(二ツ)

## 平趣味界

### 圍碁を語る

麻雀と同じく支那から傳來したの基がある、圍碁と云へば歴史の古い遊び、鳥驚の戦ひの歩みのと言はれてとかく動物に縁故がある、一時は

## 政客

たる者須らくなつて大分圍碁熱が熾んであつたが佐藤庄太郎氏の様な頼もしい圍碁政客は一寸平に見當らない、鈴木辰

## 初段

### の折紙付き

十五丁目設樂代書の圍碁俱樂部で師匠格の人である、それから小玉川水電の濱口工學士も半では押しの利く方だ、この人は濱口首相の縁戚なさうだが出處から久しぶりに歸つて来て真直ぐに飛び込むのが圍碁俱樂部なので令夫人も仲々氣が

## 田舎

初段格では谷口仁太郎、川井醫學士、

## 出來

### たのがアマ

タカ俱樂部の名の許に在るこゝには篠田君が頭張つてゐる、ジャーナル界では四

## 最近

始めたのだ田梅吉君が御指南役を承つてゐる、出藍の譽れを早く見たいものだ、ゴ盤でい、

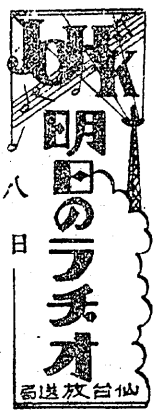
の川井醫學士の五百圓と稱するのや渡邊俱樂部主人ののだが寶の持甲斐があつて欲しい……(つゞく)

## 平町人事

△中村町字南町守田屋鈴木八氏は兼てより篤志家の高いが此程借家主に向つて家賃値下其他篤志の方法を講じてゐる

## 中村だより

△中村町字南町守田屋鈴木八氏は兼てより篤志家の高いが此程借家主に向つて家賃値下其他篤志の方法を講じてゐる



明日の天気
今日も明日も南よりの風晴れた
天気午後には夕立模様

- △前六・二〇 夏期獨逸語講座(第十七)武内大造
△前七・〇〇 英語會話速成講座(第五講)エフ、エイチ、リ
△前九・一〇 料理献立「スノーブーツ」佐藤つぎ登表 日用品値段「雜穀類」
△前一〇・三〇 婦人講座「家庭經濟」五前田繁一
△後〇・〇五 箏曲一、御國の譽れ其他 榎久雪子其他
△後一・一〇 ヨリ△後五・四五マデ 運動競技「第四回全國都市對抗野球大會」狀況「明治神宮外苑野球場」より中繼
△後五・〇〇 水泳講座「競泳の話」(三)野口一郎
△後六・〇〇 子供の時間

奇を好む爲に受くる損失
(夏期婦人講座「家庭經濟」)
前田繁一

初物を市場へ出しますのには或は温室を作つたり時期はづれに種を蒔いていろ〜と手数が加ふる非常に手数が かる上に時期外れですから收穫が少い従つて非常に高く賣らねば引合はぬ賣る値段が非常に高いばかりか温室その他で無理に早く仕上げるのであるから初物にうまいものなしで甚だ味がまづい所謂初物食いの錢失ひでありま

買物を する上に於て流行から流行へ奇から奇へと追つて行くことが如何に大なる損失を招き家計をして如何に苦境に導くかと云ふ事であり、大體賣れて行く流行品の値を高くして賣れ残りの損を流行品を買ふ人に負擔させると云ふ事になるから

流行品 を買ふ人は品質以上に高いものを買はされ其の上來年は所謂流行遅れになると云ふ大變な損失を蒙るのです

甲斐勇吉
邑井貞吉
明治九年四月の三日櫻のさかりの頃向島の三圍の社前で一人の女がすりにかんざしを取られたのを來合せた一人の書生がそのすりを取押へかんざしを取かへし女に返してやつた、女は柳橋の梅吉と云ふ藝者でその書生に禮を云ひあなたのお住居はとたづねたが件の書生は己の名も云はずに立ち去つた、梅吉は供の箱丁に跡をつけさせると、神田駿河臺の熊倉忠方に寄寓をしてある甲斐勇吉と判つたので毎日手紙を出したが勇吉は封も切らず焼きすてた、ある日勇吉は友人の友平左内にとはれ千葉の鴻の臺へ行つたその歸り途濱町の料亭生稻へ登樓すると計らずも梅吉に再會したので彼

は詞も交へず席をけつて立歸つた、梅吉は友平に是非勇吉に合はせて呉れと頼んだので友平は同じ友輩の宇佐美に相談した宇佐美は梅吉に會ひ話をきくと向島の經緯を語り、梅吉はもと紀州和歌山藩の國家老、佐原勤兵衛の娘八重子とて幼少の頃父に死別し母とともに東東へ出たが、父母が病の床につき臨終の際同藩の甲斐庄左衛門の伴勇吉とは許婚であると聞いてゐた、梅吉はどうかしてその勇吉に合ひたいと思つてゐるうち四月三日計らずも親の許した勇吉に助けられたのであつた話をきいた宇佐美は物堅い勇吉のこと故只では應ずまいと一策を案じ、その翌日勇吉を訪ね、今宵義士會を催すから拙宅まで出向かれよとさそひ出し、強烈な泡盛を飲ませ勇吉を酔ひつぶれさせそのまゝ薬研堀の待合誰ヶ袖へ送り込み歸

健實な 家庭賢明な御婦人方の一笑だにも値ひしない事であり、從つて野菜や果實及び魚類などの食糧品は、季節、所謂シユンのものさうして成るべく豊作で澤山獲れたものを買ふと云ふ事は家計を司る婦人としては是非心掛けねばならない事であり、更に氣を付けなければならぬ事は

勇吉もその奇遇におどろき物堅い勇吉はその夜はそのまゝ別れたが翌日宇佐美に説かれ初めて梅吉の純情を知り兩人は目度夫婦になつた後勇吉は米國へ渡り日本道楽家として彼の地の拳闘家と試合を見事勝を占め日本柔術のため氣をはい

スノーブーツ
佐藤つぎ登表
△材料及び分量(五人前)
片栗粉大匙三杯、卵の白味二個分、水三勺、香料レモン又はヴァニラ二三滴、砂糖大匙四杯、水二合、カスタードソース、卵の黄味二個分、砂糖大匙二杯、牛乳一合
△調理法 砂糖大匙四杯に水二合入れたものを鍋に入れて火にかけて煮立つたならば片栗粉大匙三杯を水一勺でとき砂糖の中にひきまます全體が糊の様に煮えて来たならば火より下し白味を充分泡立てた物を混和して雪の様にになりました物をゼリ型又は茶呑茶碗を水でうるほした中に流しこみまして冷まします、白味を泡立てますのは大きな皿の様なものか又は井の様なものをよく乾したものに白味を入れれば箸を何本も一緒に集めたものでかきまわしますと泡の様にになります、其れを倒にいたしまして落ちてない位固く泡立てるのでござい

講演
化學涼話
眞島氏は東北帝大醫學部教授であります
詩聖ゲーテが化學に興味を有したる事績を一場の涼み話として述べたいと思ひます

眞島氏は東北帝大醫學部教授であります
詩聖ゲーテが化學に興味を有したる事績を一場の涼み話として述べたいと思ひます

眞島氏は東北帝大醫學部教授であります
詩聖ゲーテが化學に興味を有したる事績を一場の涼み話として述べたいと思ひます

花柳病豫防妊娠調節とに
ハモニー
効副と力効
定價(同携帶用六本入金壹圓五拾錢) 東京三福商行
特約店 小野藥舖
電話一四四番

専門 内科一般
川井内科診療所
電話七二二番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

セメント
壁用材料
コーラタール
ペンキ塗料
板ガラス
西村屋藥舖
平町二丁目(電三)



# 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
 平町田町 電話五二三番  
 内科 小兒科 外科 花柳病科  
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

舊盆 も近くなりました

提灯 の御用意は

法名入提灯!!

岐阜提灯!!

安クテキレイナ

平町四丁目

スガノヤ提灯店

電話七一二番

改九五番

平新川町十九

# 木村病院

電話一六四番

産人科 院長 木村寅次郎

女醫 木村コウ

内臓外科 醫學士 松永憲一

整形外科 醫學士 萩原駿二

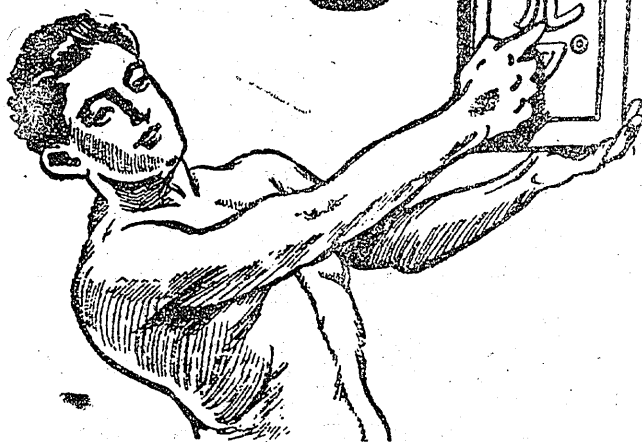
藥局 東京醫學士 萩原駿二

腸胃弱き諸君!

夏に勝つべく服用あれ

# ヘルプ

下痢・腹痛・吐瀉を治し、腹瓦斯を止め……  
 僅かの中に腸胃を健全にし  
 著しく食欲と精力を増す。



時計の生命は修理にあり  
 迅速親切丁寧を  
 モットーとする

金光堂時計店へ

御用命を願います

平町 電話七三六

八月十日頃より 電話一九五番に變更に



貸切は

磐城 タクシーへ

電話四五四番

平驛前

和食卓覆ひは、和久井屋

電話四〇五番

御中元御贈答品には

贈るに御便利・貰つて御重寶な

三井の商品券

三井呉服店

堂天敬村津 市京東 舗本

番四六八京東替振 京東 部張擴

旅行用 定額 五十五圓

胃腸消化 胃酸過多 腸胃弱き 諸君に 効用あり

主効